

第3回協議会意見を踏まえた計画（案）の修正の内容について

参考資料②-2

NO	発言者	質問・意見	回答	素案修正内容（修正後頁）
1	琉球大学 神谷委員	・通勤手当認定者という言葉はわかりにくいので、何を意味しているのかを注意書きで書いて欲しい。	・記載方法は検討していきたい。	・本編P134、概要版P11に注書きを追記
2		・路線バス無料化の実験については、この計画の中でしっかり記載した方が良いのではないか。	・現在予算審議中でもあるため、記載については庁内で調整していきたい。	・本編P110に実験予定を追記 ・P123に関連文章を追加（15行目） 「このような状況を踏まえ、～加速していく。」
3		・基幹バスやフィーダーバスの目指すサービスレベルを記載できないか。難しいようであれば今後の検討予定や考え方を記載するなど、次年度からこの件を考えてもらうための表現を加えていただきたい。	・どこまで記載できるか事務局で検討していきたい。	・本編P90の施策1-1基幹バスシステムを中心としたバス路線網の再編で、網体系やサービス水準を追記
4	中村会長	・地域拠点に関連した施策12の文章は少し表現を工夫した方が良い。		・本編P103に“各市町村で地域の特性に応じた地域拠点を検討する”等を加筆修正
5		・施策22は、情報提供の前にきちんと継続的にデータを取っていくことが、その後の政策の評価PDCAを回していくときにも基本となる。短期的な様々なトライアルをした際の評価にもなるため、少し文言は表現を工夫して欲しい。		・本編P115の「効果検証への活用」→「施策評価への活用」に修正  ・本編P115に、“継続的なデータ取得と関係者間での共有”等を加筆修正
6		・路線バス無料化の実験は同じ意見なので、検討して欲しい。		・本編P110に実験予定を追記 ・P123に関連文章を追加（15行目） 「このような状況を踏まえ、～加速していく。」
7		・路線バス無料化の実験について、もう少しご説明が欲しい。計画への記載方法など少し工夫が思う。	・路線バス無料化の実験時期は6月に実施する方向であり、より多くの利用者、県民の方に知っていただくことが重要なため、趣旨も含めて計画の中で記載する方向で調整したい。	・本編P110に実験予定を追記 ・P123に関連文章を追加（15行目） 「このような状況を踏まえ、～加速していく。」

NO	発言者	質問・意見	回答	素案修正内容（修正後頁）
8	琉球大学 神谷委員	<p>・今回多くの予算をかけて実施する実験なので、どれだけの方がバスを使うようになったとか、どのくらいの方が車から乗り換えたのか等、本当は細かく知りたいが細かくはもちろん知れない中、少なくともバスの利用者数が、こういう実験をやると何ヶ月ぐらい効果があるのか、1年経っても効果があるのか、というところは把握しておく必要があると思う。</p> <p>・そういったことをこの計画にどこまで書けるかは別であるが、沖縄県でやった場合こういうことはモニタリングするぐらいは対応していただきたいと思う。</p>	<p>・どこまで記載できるか事務局で検討していきたい。</p>	<p>・本編P110に実験予定を追記</p> <p>・P123に関連文章を追加（15行目） 「このような状況を踏まえ、～加速していく。」</p>
9	中村会長	<p>・路線バス無料化の実験をどう準備して、どう実施して、どう分析して、どう繋げていくかといった中身の部分は様々あると思うが、大事なことは沖縄の地域公共交通にとってはすごく大事な話であるので、書ける範囲での入れ込みが重要であり、例えば2年後に読んだ人が、わからない、知らないといったことがないように配慮をお願いしたい。</p>		<p>・本編P110に実験予定を追記</p> <p>・P123に関連文章を追加（15行目） 「このような状況を踏まえ、～加速していく。」</p>
10		<p>・空港の混雑については、空港管理者やバス事業者も含めて連携していただきたいが、適正な空港施設のアクセス機能の使い方や、その中での公共交通の充実や拡充を目指すという方向で施策14の文章は少し工夫して欲しい。</p>		<p>・本編P105に、モノレールや多様なバスがより使いやすい方向を目指す旨追記</p>
11		<p>・交通弱者という表現は、移動困難者あるいは移動制約者の言い方にしてほしい。</p>		<p>・本編P101 移動困難者に修正</p>